

わたしたちの地域シリーズ 第1回

子育てしやすいまち 江別

誰もが自分らしく、いきいきと暮らせるまちをめざして、ワーカーズ・コレクティブは趣旨に賛同した人たちが協力して、事業や活動をつくり出しています。今回は、江別市の3つのワーカーズの子育て家庭支援、子ども支援事業を紹介します。

たすけあいワーカーズ ふわっと

障がいのある子どもの放課後の居場所が足りないことが課題であったため、2008年に「放課後児童クラブふわっと」を設立。障がいのある子もいない子も一緒に育ちあう…そんな学童保育をめざしました。現在は児童デイサービス等が増えたので、障がいのある子どもの割合はかなり少なくなりましたが、働く親が多くなり毎日学童保育を利用する子どもが増えています。〈代表 高橋 祐子〉



放課後児童クラブ ふわっと

4年前、友愛福祉会の施設の中に移動してからは高齢者とのふれあいが増え、子どもたちにも礼儀や思いやりの気持ちがあらわれています。

子そだてひろば ふわっと

月2回静苑ホームの一室を借りて運営し、近隣親子の遊びの場を提供しています。月1回江別市から、子育て支援コーディネーターも派遣されています。

ふれあいサロン カフェふわっと

設立当初から、地域に開かれたカフェや子育てサロンを運営しています。現在は毎週金曜日10時から2時間、友愛福祉会静苑ホームの喫茶室でふれあいサロンを開催し、地域の多くの方に喜ばれています。



こども支援ワーカーズ みんなのいえ

これまでの経験から、人と人が関わりあうことで地域課題の発見と解決につながるかと考え、「地域で子育てをしよう」と事業を始めました。保護者との関わりで大事にしていることは、ただ単にお金(保育料)を介してサービスを提供する側とされる側にならないこと。子どもの居場所である「みんなのいえ」を一緒に作り上げる仲間であり、子どもにとって最善の利益のための協力者でありたいです。1年間運営するなかで、保護者の方も経営状況を気にしてくれたり、我が子だけでなく一緒に育っていくみんなに対して温かい眼差しを向けてくれていると感じ、とても嬉しいです。〈代表 鈴木 律子〉



放課後児童クラブ みんなのいえ

働く親をもつ子どもの居場所として、地域にあるもうひとつの「家」のような、安心してくつろげる場所をめざしています。おもちゃが少ないと言っていた子どもたちも、段ボールで遊び道具をつくらしたり、アイデアや発想力に驚かされています。

子育て支援ワーカーズ きらきら

毎日の子育ての中でちょっとした手助けが欲しい時に、同じまちの先輩ママとして何かお手伝いができればという気持ちで2005年に立ち上げたワーカーズです。「ママがきらきらしていたら、こどもだってきらきらできる」の思いを込めてみんなが笑顔で過ごせる、そんな江別をめざして活動を続けています。〈代表 岡 幸代〉



託児ルーム きらきら

江別市の子育て支援施設「ほこあほこ」に隣接し、ママのリフレッシュを目的とした一時預かり事業を行っています。週3回(木・金・日)の開設日は、どの曜日も空き時間がないほど賑わっています。

きらきらひろば

錦町の新栄会館にて、祝日を除く毎週月曜日の10時から14時まで、自主ひろばとして開催しています。10組前後の親子が来場し、ゆったり過ごせると好評です。

地域サロン きらきらカフェ e-たいむ

新栄会館で月1回第3水曜日に開催し、地域の様々な年代の方が10組ほど参加しています。毎回、飲み物と手作り焼菓子を口にしながらかつ1時間ほどの企画講座を楽しんでいます。また、講座の前後はおしゃべりの他、思い思いに季節の折り紙や脳トレなどをしてスタッフと楽しく過ごしています。

地域にひろがる 私たちのネットワーク

生活クラブ江別支部、市民ネットワーク江別 ワーカーズ・コレクティブ これまでの取り組み

三者で活動するにあたり、各団体に共通するひとつの目標があった方が、より具体的に理解できてわかりやすいのではと考え、「子どもの権利条例制定をめざす」ことを大きな目標にしました。そして、この活動が広がるよう、生活クラブ組合員や各団体のメンバーだけでなく、広く市民に向けて連続講座を開催しています。これまで、「障がいのある子もいない子も一緒に地域で育つこと」「学校に行かない(行けない)ということ」「あらゆる暴力から子どもを守る～CAP」などをテーマにしました。講師



連続講座の様子

※1に荒牧重人さんや佐々木一さんをお招きしたときは、子どもの権利について専門的に学ぶことができました。

※1：山梨学院大学教授、国連 NGO・NPO 法人 子どもの権利条約総合研究所代表

※2：札幌市子どもの権利条例市民会議 代表

誰もが安心して暮らし続ける地域づくり

ワーカーズ・コレクティブは、地域課題を解決するために、サービスやものを創り出します。また単独で解決できないことは、地域の中で連携して解決を図ります。

そして協同組合を基本理念とし、江別市においては生活クラブ江別支部の組合員と市民ネットワーク江別の会員とともに、地域づくりの活動を行っています。この三者のネットワークは、食の安心安全・環境や教育、地域福祉への考え方が共通です。自主参加・民主的運営で活動をすすめ、誰もが安心して暮らし続ける地域づくりをめざしています。

この中から新しい放課後児童クラブのワーカーズが誕生し、子育てしやすいまちづくりを充実させています。今後も様々な課題に応じた活動や解決策の提案を行っていきます。